

附近だけれど、奥深い・・・国語

「国語」と聞くと、普段から日本語を使っているから勉強しなくともできる。特に勉強しなくていい教科！と考える人がたまにいますが、それは大きな間違いです。たとえば、なんとなく作文は書けるし、文も読めるからといって「国語」の力があるとは言えません。「国語」とは、言葉の知識や読解力、書く力、話す力などをたくわえ、『しっかり』日本語を理解し用いるための教科です。

学習していくなかで難しいと感じていた文章が理解できるようになる喜びや、構成を考えて作文やスピーチをする楽しさなど今まで感じたことのなかった日本語の奥深さや面白さに気付くことができるのはずです。心に留めておきたい言葉や文章がすらすら暗唱できたらすてきですね。



国語に必要な5つの力。

聞く力…人の話をきちんと聞き、自分の中で整理する力。

話す力…自分の考えや思いを相手に正しく伝えられるように考えて話す力。

書く力…思っていることを読む人にきちんと伝えられるように、文章の書き方や使う言葉などを選んで表現する力。

読む力…文章を読み、面白い表現や美しい言葉などを味わう力。

知識力…国語に関するたくさんのかぎりや漢字の面白さ、古い言い回しにまつわるいにしえの人たちの深い見識を知る。



これらの力をつけて言葉に対する感覚を磨き、美しい文章や詩を味わおう。また、自分の意見を発信する楽しさを知ろう。

家庭でできる、国語学習方法

きちんと内容を理解する。 …学習したことをきちんと理解できているか確認することが大切。家に帰ってその日に授業で勉強したことのノートなどを見直してきちんと復習しましょう。

たくさんの文章に触れる。…さまざまな文章に触れることで、言葉の力が磨かれていきます。詩や小説、古文といった色々な文章に日常的に触れましょう。

家族や友人とお話をすること。…いろいろな人たちと話すことで、話す力や聞く力が身についていきます。国語は机に向かって教科書を広げるだけではありません。友達と話すときも、目上の人と話すときも、テレビを見ているときも、言葉に対する意識をしっかりと持てば国語の勉強となるのです。

